

まちかどピアノ気軽に、曳山会館に5月まで設置 砺波の大道さん、叔母の遺品を再生

2025年4月10日 05:00

ニュースプラン記事

地域

X f LINE



まちかどピアノを弾く大道さんに合わせてバイオリンを奏でる心香さん

思い出の詰まったピアノを活用しようと、砺波市で音楽教室を主宰する大道友萌子さん（45）は、叔母が所有していたアップライトピアノを「まちかどピアノ」として同市出町子供歌舞伎曳山会館に設置した。5月末までの期間限定で誰でも気軽に弾けるほか、コンサートも予定している。「ピアノを中心とした音楽とまちのつながりが深まればいい」と期待を込める。（黒川舞弥）

大道さんの叔母、沖野初美さんは南砺市出身で結婚を機に千葉県に移住。声楽家として活動していたが2018年に亡くなり、30年近く愛用していたピアノはしばらく使われていなかった。虫食い状態で処分も考えたが大道さんが修理して再び復活させることにした。

大道さんは砺波市太郎丸でピアノ・リトミック教室「おおみちMUSICA（ムジカ）」を開き、毎年行う発表会はことし15周年を迎える。節目に合わせ、地域への日頃の感謝を込めて同会館に置いて自由に弾いてもらうことを決めた。音楽を通して笑顔があふれる場になればとの思いもある。

3月には市内を拠点に活動する男性3人グループ「くまの音楽堂」の結成10周年記念コンサートでピアノの美しい音色を響かせた。今月20日は教室に通う子どもたち、5月18日には大道さんのピアノに合わせ、長女の心香（このか）さん（15）がバイオリンを奏でるコンサートを開く。

ピアノは休館日の水曜日と第3木曜日、イベント開催日を除き誰でも弾ける。大道さんは「子どもたちや音楽が好きな人同士で気軽に立ち寄ってほしい」と呼びかける。心香さんは「優しく温かみがある音色。みんなが音楽を楽しめるピアノになってほしい」と願う。